



トミオカホワイト美術館

開館 9:00~17:00 (入館終了16:30)

5月の休館：9日(水)、16日(水)、23日(水)、30日(水)

☎775-3646 ☎775-3650 URL <http://www.6bun.jp/white/>
 ¥ 一般500円/小中高250円(市内の小中学生は無料)

市民無料の日：8日(火)、18日(金)、28日(月)

富岡惣一郎「越後の風景」

期間 7月17日(火)まで

生まれ育った雪国・越後の風景を中心に、初期から晩年までの作品を展示。

【同時開催】「池晶子 BORO チクチク展」

期間 5月22日(火)まで

野良着やのれんなどの襤褸に太い糸でちくちくと縫った作品を展示。

ギャラリートーク 日時 5月20日(日) 13:30~

「ちくちくレッスン」ちくちく針山をつくろう

日時 5月20日(日) 14:00~ ※要申込み

参加費 3,500円(材料費・観覧料込み) 定員 10人

ラウンジ展 5月 [観覧無料]

城内さんぽ〜私の宝物〜 綿絵・日本画などを展示。

市民ギャラリー 「第3回 佐藤幸子展」

南魚沼市民会館

受付 8:30~17:15 / 5月の休館：毎週月曜日

☎773-5500 ☎772-8161 ☎0120-150-142
 URL <http://www.6bun.jp/kaikan/>

開館30周年記念事業 南魚沼市交流大使特別公演

「南魚沼より愛を込めて 〜歌と笑いと音楽のスペシャルLIVE〜」

市の魅力を発信する「交流大使」4人が織りなす、すてきなステージをぜひお楽しみください。

日時 6月24日(日) 14:00~ (開場13:30)

会場 市民会館 大ホール

出演 TSUNEI、葉月みなみ、鈴木Q太郎 (ハイキングウォーキング)、橘光一

入場料 全席自由1,500円、高校生以下無料(要整理券) 会館、会館プレイガイドにて発売中。



棟方志功アートステーション

開館 9:00~17:00(入館終了16:30)

5月は毎日開館します

[JR六日町駅1階] ☎770-1173 ¥ 一般500円/小中高250円
 URL <http://www.m-uonuma.jp/m-artstation/>

【華やかな装飾美展】 期間 6月10日(日)まで

女性の魅力をより引き出してくれる「装飾」がテーマの展示。装飾は国民性や時代背景、身に付けている人の個性など、さまざまな情報が隠れている重要で興味深いモチーフです。

鈴木牧之記念館

開館 9:00~16:30

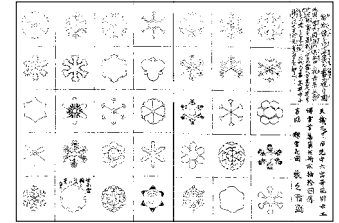
5月の休館：8日(火)、15日(火)、22日(火)、29日(火)

☎☎782-9860 URL <http://www.6bun.jp/bokushi/>
 ¥ 大人500円/小中高250円(市内の小中学生は無料)

『北越雪譜』挿絵紹介 その34

本書の中でも代表的なこの挿絵は、古河藩(現・茨城県古河市)の藩主土井利位が出版した『雪華図説』の図を引用したものです。顕微鏡で見た雪は、さまざまな形をしていることを知った江戸時代の人たちはさぞ驚いたことでしょう。

当館では、大きく引き伸ばした雪の結晶の図を展示しています。ぜひご覧ください。



むしめがね もつ ゆきのかたち つまびらか み
 [顕微鏡を以て雪状を審に視たる図]

池田記念美術館

開館 9:00~17:00 (入館終了16:30)

5月の休館：毎週水曜日、7日(月)、8日(火)

☎780-4080 ☎777-3815 URL <http://www.ikedart.jp>
 ¥ 一般500円/高校生以下(無料)

「一水会 新潟・群馬合同展」

期間 5月10日(木)~6月5日(火)

美術団体一水会の新潟支部と群馬支部の会員の作品を展示。写実的な風景や人物画を鑑賞できます。



さきみあき
 杉森企観明「百合の花」

今泉記念館アートステーション

開館 9:00~17:00 (入館16:30まで)

5月は毎日開館します

☎783-4500 ☎783-3388
 URL <http://www.michinoeki-minamiuonuma.jp/imaizumi-kinenkan>
 ¥ 一般500円/小中高250円

常設展 ~彫る 摺る 画く~ 「棟方志功の世界」

企画展 期間 6月13日(水)まで

「クール&グラマラス! ウォーホルとフランス絵画展」

アメリカの巨匠アンディ・ウォーホルをはじめ、レイ・イカール、ベルナルド・ビュッフェといったフランスを代表する画家や、日本で大人気のジャン=ピエール・カシニョールの作品などを展示。

「セピック・アート (造形美術)の世界」

現代美術に大きな影響を与えた、セピック・アートと呼ばれる造形作品を展示。岡本太郎やピカソも影響を受けたといわれている南太平洋の作品をぜひご覧ください。